

令和4年度 第2回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2022年（令和4年）7月22日（金） 10：00～11：50
2. 場所：市役所5階会議室
3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（曾志、森谷、江連）
池子小学校区住民自治協議会（田宮、鈴木）
久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、鈴木）
小坪小学校区住民自治協議会（阿部、原田、豊住）
逗子小学校区住民自治協議会桜山ブロック準備会（欠席）
※敬称略

地域担当職員リーダー（須田透環境都市部次長、佐藤多佳子教育部次長、廣川忠幸福祉部次長（代理出席：中川公嗣文化スポーツ課副主幹）、仁科英子経営企画部次長、青柳大典環境都市部次長）
市民協働部（岩佐正朗部長、石井聡市民協働課長、西久美子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事（議事録作成者））

4. 議事

1. 逗子市総合計画中期実施計画の策定について
2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
3. その他

5. 資料

1. 逗子市総合計画中期実施計画の修正案について
2. （仮称）地域自治に関する条例検討懇話会について

議事1 逗子市総合計画中期実施計画の策定について

（石井聡市民協働課長）

- ・資料1「逗子市総合計画中期実施計画の修正案について」により説明を行った。

【意見概要】

（久木）

- ・今回の計画の修正において、住民協に関わるものがあれば教えてほしい。

（石井聡市民協働課長）

・福祉や防災の分野において、行政だけでなく地域の方々のお借りして、進めていきたいという方向性となっており、住民協含め、地域の方とともに考えることが重要と考えている。

(久木)

・市は、福祉、防災、防犯の分野で縦割りになってしまっていて、この状況を改善してほしいと感じる。

(石井聡市民協働課長)

・担当課が部を跨いでしまうと、構造上連携が難しくなってしまう側面があるので、何とかしたい。また、計画は責任範囲を示すものでもあるため、どうしても縦割り感が出てしまうが、実施する際は、横の連携が必要になってくる。

(仁科英子経営企画部次長)

・前期実施計画を策定した際も、縦割りの解消は意識したものの、現在も課題として存在しており、常に意識しなくてはならないことだと認識している。

(久木)

・以前、ある審査会に参加していたが、統合、無駄なことを省くという視点が欠けていて、もっと大きな視野を持って全体の業務の効率化を図ってほしいと感じた。

(石井聡市民協働課長)

・今回の中期実施計画については、1つの指針として、業務の統合、効率化を意識して、複数の計画を1つの計画に包含する等、業務のスリム化を図るよう策定作業を行っている。

・各所管で抱える計画の量が多く、事業の実施ではなく、計画の策定そのものに大きな労力を費やしていることも事実である。

(久木)

・住民協において、防災、減災は重要な取り組みの1つである。今後、地区防災拠点が3地区から5地区に増えるとのことだが、住民協にも密に情報共有していただき、しっかり市と連携したいと考えている。

議事2 各住民自治協議会の活動に関する意見交換

【小坪住民協】

・広報関係について、KJK（小坪住民協広報誌）、HPを使用する等、視覚に訴える周知に若手が尽力してくれている。KJKに掲載する写真は評判が良く、展示会の開催も検討している。

・ウクライナへの支援について、支援金と折り鶴を送る予定である。

【意見概要】

(久木)

・KJKについて、小坪漁業協同組合の関係者を掲載する等、地域の方も巻き込んでいて、参考になる部分が多くある。

【久木住民協】

・明日、防災減災部会に小坪の赤羽氏を招いて、防災活動、訓練について意見交換会を行う。特に介護が必要な方等、ハンディキャップのある方に重きを置いた防災活動という部分で、様々な話ができればと思う。

【沼間小学校区地域連合会】

・防災マップについて、平成 29 年度に作成したものを今年度に更新予定である。作成のために各住民協より防災マップをご提供いただき感謝申し上げます。今回の更新に当たっては、各自治会の状況も踏まえ、井戸、消火器、看板等、災害時に役立つもの取捨選択して掲載したいと考えている。

・明日に代表者会議があるが、メンバーも変わったため、会則、地域づくり計画について説明し、目標を共有したうえで進めていきたい。

【意見概要】

(小坪)

・デマンドタクシーの実証実験は終了したが、今後はどうなっていくのか。

(沼間)

・実証実験を終え、事業継続に必要な赤字部分について、自治会資金を持ち出して補填するか否かという議論となり、自治会で諮った結果、その案は否決されてしまった。市長も交え、本事業の今後について、意見交換を行ったが、自治会資金に依存せず継続できる制度設計が肝であるという話になった。具体的な方法として、単に利用者負担額を上げるだけでなく、運行コースを変える、利用料をサブスクリプション方式にする等、アンケート結果も踏まえ検討していきたい。検討を重ねて形になりそうだとということになれば、市とも協力し、再度実証実験を行いたい。逗子全域に波及するような取り組みとしたい。

(池子)

・高齢者の移動手段という意味で、当地域でもデマンドタクシーに対する関心は高く、非常に期待している施策の 1 つである。市は単一地域のこととして捉えず、全体の問題として考えてもらいたい。

(久木)

・高齢者の移動手段についての取り組みは、この時代において重要であり、何らか計画に盛り込んでほしい。

(青柳大典環境都市部次長)

・路線の道幅、関東運輸局との調整、既存のバス路線との兼ね合い等、見るべき項目は様々あるが、引き続き検討する。

議事 3 その他

【逗子小学校区の状況について】

(小坪)

・逗子小学校区の状況はどうなっているか。立ち上がる見通しはあるのか。

(石井聡市民協働課長)

・逗子地区の自治会については、市が関係者にお声がけして主催する意見交換会のほかに、自治会同士でも集まっているという話は伺っている。各自治会の考えというものもあり、今すぐに立ち上がる状況というわけではない。

(池子)

・住民協が小学校区単位であるということは1つネックであると感じる。例えば、逗子小学校区の中で、2つ、3つに分かれて立ち上げることもできるのか。

(石井聡市民協働課長)

・自治会側の状況によっては複数になることも考えられる。また、他の4地区と比べて地域の活動が少ない、体育会をはじめとする団体が桜山、新宿等の字ごとに存在する、連合町内会がなく、自治会の加入率が低い等の地域性が要因となって、立ち上げが難しくなっている現状がある。

(池子)

・住民協の活動について、住民協を知らない方に具体的に周知しきれていないことも課題である。住民協自身で事業を実施する他、地域で子どものための活動をしている方がいれば、その活動を応援するため、周知の手伝い等で出来る範囲の協力をすることもできる。加えて、自治会との関係性について、対等な関係を念頭に、協力関係を築き上げることが重要である。

(小坪)

・逗子小学校区の住民協はなくてはならないものなのか。

(石井聡市民協働課長)

・単に住民協があればいいという話ではなく、地域に住民協のような団体があれば、地域の困りごと（防災や子どものための活動等）に対して、住民目線で自分事として取り組むことができるという意味である。

(小坪)

・逗子小学校区の立ち上げに力を入れることに一定理解はできるが、その力を他の4つの住民協のために使ってほしいという気持ちもある。

・住民協は、地域の困りごとをまとめて市に伝えることで、その課題が認識し解決していくという側面もある。

・既に住民協を立ち上げている我々4団体、逗子小学校区の方と、住民協のことについて、住民目線で意見交換する機会を設けてもいいのではないかと思う。

【住民協の周知広報について】

(池子)

・過去、各住民協共同で広報誌を作るという話があったが実施を検討してもいいと思う。

(久木)

・広報誌の作成については、編集から印刷までかなり労力がかかってしまう。自分の地域の広報誌でさえかなりの労力を費やしているので、合同であれば、さらに取りまとめるという工程も加わってしまうため、慎重に検討する必要があると思う。

(沼間)

・市はHP等を用いて住民協の活動の周知に努めてもらいたい。

【その他】

(小坪)

- ・市からの通知等で住民協に対しての案内漏れがある部分は気を付けてほしい。
- ・市として進めていきたい重要な施策がある際、地域住民への説明会でなかなか理解を得られない等、苦勞することもあると思う。そのような場合、例えば住民協に対して理解できるよう内容の説明をしてもらえれば、地域の住民への周知、説明のフォローを実施する等、協力はできると思う。

(石井聡市民協働課長)

- ・ありがたいご意見をいただき感謝する。また、今年3月の連絡会で実施したように、「気候非常事態宣言」、「津波災害警戒区域」等、特定のトピックについて、情報提供することもできるので、何か希望があれば担当課と調整するのでご相談いただきたい。

※次回の連絡会は9月30日(金)の開催を予定している。